

会員リレーコーナー

しばらくです
どうも



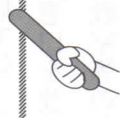
今回登場された会員からバトンを渡された会員の皆さんは次回の掲載になりますのでよろしくお願ひいたします。

東北電友会会報 編集委員会
※氏名の後の（ ）は退職年を示す。



青森地区電友会
澤田 真一(平23)

からのバトン



千秋クラブ
柴田 幸雄さんへ

五所川原支店に勤務していた平成元年頃、公私ともにお世話になりました児玉健さんからのバトンをいただきました、ありがとうございます。

児玉さんには、特に杜宅暮らしに不慣れな澤田家4人を親身になつてお世話いただきました。

また、今でも当時、仕事で一緒に緒させていただいた宮城県、秋田県及び青森県在住の方々と参加人数は諸事情で年々減ってきましたが、年1回持ち回りで小ぢんまりと懇親を深めています。

現在は、平成23年にNTT東日本青森支店を退職し、テルウエル東日本青森支店で勤務して、今年3月に退職しました。しかし今年のはコロナ禍もあり、退職旅行にお出かけとはなりませんでした。秋の紅葉シーズンに入り、やっとカーポンを利用した旅行を楽しみ始めています。

そして、唯一趣味のゴルフも月1回のNTTOB青森ゴルフ会

にも参加していますが、諸先輩の重圧を感じてかスコアが今ひとつ伸び悩んでいるところです。

次のバトンは五所川原支店に勤務した頃、仕事とアフターファイブでもお世話になりました秋田千秋クラブの柴田幸雄さんに繋ぎますので、よろしくお願ひします。



霞城クラブ
細谷 悦信(平23)

からのバトン



五ツ橋クラブ 三ツ谷 義規さんへ

大場晃さんよりバトンをいただきました。先輩とは東北資材配給局に所属(昭和56年頃)していた時からの仕事繋がり、今でも「資材部OB会」実行委員として長きに渡り交流を続けております。

東日本大震災があつた2011年に退職し、以後自分なりの生活を楽しんで来たと自負しておりますが、「果たしてそうであつたか？」

人に迷惑をかけていないか」と思う自分も同時に存在します。

とかく外面は良いそうで、わがまま勝手な一面もあり評価は皆さん任せです。現役の頃と大差ないかも知れません。

「古希」を迎え、体調もあちこちに支障が始めており、皆様と同様に複数の診察カードを携行し薬を服用している日常ですが、「仕事らしきもの」と「趣味らしきもの」にと動き回っている昨今です。野菜作りとサクランボ農家を夫婦して切り盛りし、子供達に産直宅配を楽しみの1つにしています。スマホのLINEは便利ですね。懐に易しいツールを活用し、子供や孫の元氣を確認しております。

霞城クラブ事務局、町内会総務、



カラオケの時は「全集中！」

販売3店舗の商品管理（婦人服）など、いずれもパソコンを使用しており、最近特に「目」の衰えがあり心配ですが、農家との両立を継続できるよう、今は健康作りにゴルフで息抜きと活路を、仲間との友好親善を、と欲張りに実行しております。

後期高齢へ着実に歩みを進めておりますが、日々精進・健康で「喜寿」を迎えることが目標です。そして傘寿：米寿へと人生行路続くかな。??

次は地元の葛巻ワインは美味しいぞ。横浜時代から付き合い合いが続いている岩手県在住の三ッ谷義規さんにバトンをお願いします。



弘前地区電友会
島津 眞 (平12)

からのバトン

電友あさか会 星 日出明さんへ

ある出来事があり、営業部門に

所属していた私が東北支社の厚生部門の業務を担うとともにNTT東北野球部の副部長に就任し、都市対抗に挑戦する立場になりました。別の意味で生きがいを感じる機会を与えられました。

当時の野球部は福地監督のもと第3期黄金時代を迎えており、東北では宮城のJT・JR・NTT、福島の前・クベニマル、秋田のTDK、と強豪が覇権を争っており幸運にも副部長・部長の4年間で3回東京ドームに出場する機会に恵まれ1塁側ベンチに入ることが出来ました。東京ドームの1塁側は、読売巨人軍のホームグラウン



東京ドームにて

ドでベンチに入った時、ここが長嶋、ここは王が座っていた席だと感激を持って座ってみました。

残念ながら、都市対抗では敗退し悔しい思いをしました。が、礼儀正しいスポーツ選手とのふれあいで、実直に生きる大切さを改めて知ることが出来ました。

令和元年に、10歳年上の兄と北海道1周の旅行をしました。網走刑務所を見学したく2日宿泊し、鉄格子の独房等を見学しました。天候に恵まれ網走港からクルーザーに乗り、オホーツク海を2時間ほど沖をめざし、幸運にも潮吹くクジラを見ることが出来ました。（船長曰く、潮吹くクジラを見られるのは世界でもまれですよ）船の近くにはイルカが10数頭戯れる姿もありました。

仙台の長町勤務時代に、諸先輩のご配慮もあり、何かと話題の「桜を見る会」に当時の森総理から招待を受け新宿御苑に参加させていただきました。桜の樹の下で浅野宮城県知事ご夫妻と写真を撮り、幸運の極みでした。

昨年はコロナウイルス禍に見舞



オホーツク海にて

われ、各自厳しい時間を過ごしましたが、明るい未来を信じて、幸運が巡ってくることを信じて、時には苦しい時期を共に乗り切った同僚たちと語らい酒を酌み交わすことを楽しみに頑張りたいものです。

現在は、電友会のサークル活動（麻雀・パークゴルフ）に参加をしボケ防止と体力維持にと日々楽しく過ごしており、静かに神の御沙汰を待っている今日この頃です。次のバトンは、郡山で頑張っている星日出明さんに引き継ぎたいと思います。



石巻電友会
石川 稔 (平23)

からのバトン

大崎クラブ

小野 祐一さんへ

生良志さんとは昔共に女川町に住み、小、中、高と同じ学校（私が3期上）を卒業し、職場も石巻局計理課で一緒だった関係から、バトンをと言われればNOとは言えない仲です。

私の採用地は、山形県の寒河江電報電話局。寒河江という地名を初めて聞いた時は北海道か？と思っただけでした。地図帳を開くと奥羽山脈を超えた西の方角にあり「サガエ」と読むことがわかりました。

昭和40年6月末、女川から石巻線、仙石線、仙山線、左沢線と乗り継いで行ったことを懐かしく思い出します。5年後、石巻電報電話局へ転勤となり左沢線、石巻線の逆コースで女川に戻りました。寒河江では皆さんに大変お世話に

なり今でも感謝の気持ちで一杯です。仕事以外では、野球、山登り、麻雀等を楽しみました。

初登山の月山（1840m）は5月初旬職場の先輩達について行きました。中腹の姥沢付近から頂上まで続く残雪を踏んで登るのは登山初体験の私には、大変にきつくやつのことで頂上に辿り着きました。この登山は今でも忘れられません。

麻雀仲間とは、私の退職数年前から交流が始まり、山形、宮城と1年ごとに場所を移し交流を深めています。昨年はコロナ禍の影響で実施しませんでした。今年は再会を楽しみにしています。

それから山形は、なんといっても芋煮会です。秋の青空の下、清流、寒河江川の河原で体験した芋煮会は今でも私の記憶に残っています。宮城でも芋煮は、豚肉、みそ味で盛んですが、私は牛肉、しょうゆ味の山形方式を選択します。

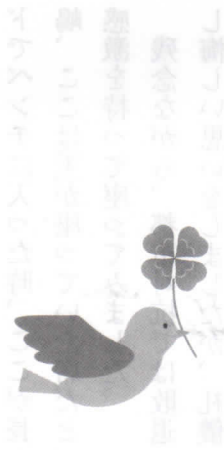
最近、石巻の自宅南側に東西の方向に通る道路ができ、その道路に立ち西方を望むと遠くに船形山（山形側では御所山と呼ばれてい

る）が見え、あの山の向こうに寒河江があると思うと、5年間暮らした寒河江での思いがよぎります。

最近の4年間は、地域の会館の管理人をしていました。前任の管理人は、NTT・OBの伊藤誠七さんで高齢のため後を頼むと言われ、これもNOと言えず引き受けました。最初は1期2年で退任予定でしたがもう1期、と頼まれ令和2年6月で退任しました。

高卒で就職し、将来のことを思うと、先の長さに、はたしてどこまで生きていられるか大きな不安を覚えるものでしたが、74才の今はよくこれまでという気持ちになります。

これからも、体調に留意し野山の新緑、紅葉巡りを楽しみみとして過ごしていきたいと思っています。次は、石巻の計理で一緒だった大崎市の小野祐一さんにバトンをお願いします。



千秋クラブ
田山 満 (平13)

からのバトン

五ツ橋クラブ

太田 守 さんへ

宅内サービス部発足時から大変お世話になりました。柴田三千夫さんからバトンを受け取りました。

昭和59年発足したばかりの宅内サービス部に秋田通信部から転勤となり、右も左も分らず、ただただ周りの仕事ぶりに驚いていました。私は施設担当として直営のSO工事で、1日1人何件の工事ができるかという「働き度」の指標集計などを担当しました。技術力を上げるには、工具はこれでもいいのか、現場でどのように動けばいいのかなど、いろいろと経験したことが、その後の仕事で役立つと思います。

平成3年の転勤で、2度目の通信機器事業部では、「定額保守サービス」に取り組んだことが良い思い出です。当時、和田総支社

長とカレーを食べ、缶ビール1本を飲みながら商売のアイデアを出すという会があり、その中で「定額保守サービス」を拡大したので案内用のはがき代として1千万円をいただけないでしょうか。」と、ビールの力で発言してしまいました。「それはどういうサービスなんだ。1千万円でいくら儲かるんだ。」あの大きな目で見られた時には冷や汗が出ました。私は勢いに任せ「通信機器の保険料みたいなものです。年間で1億円が見込めます。」自席に戻り大変なことを言ってしまったと反省。その後、上司の松崎課長（後の通信機器事業部長）にいろいろとサポートして頂いたおかげで数日後、経理部から予算が付き全支店で展開することができました。もちろん現場で取り組んで頂いた各支店のサービスマン1人1人の取組みがあったからこそ、成果を残せたのだと感謝しております。

私は現在、有限会社アイルサービスという小さな会社を営んでいます。社名に定額保守サービスの「サービス」を頂きました。

松崎課長から「サービスはタダではない、お客様からお金を頂く商品だ。」とよく言われたので、この心を忘れないように、この思いからです。

まもなく創立20年目を迎えますが、諸先輩から学んだ貴重な経験、そして同僚・後輩の支援に感謝し生涯1サービスマンとして生きていけたらと思っています。また今まで支えてくれた妻にも感謝し、年に1度の旅行も継続していきたいと思っています。

次のバトンは、通信機器事業部時代、私のためにいつも一緒に怒られてくれた五ッ橋クラブの太田



会社の駐車場にて

守さんへお渡しします。



盛岡電友会
藤原登代治(平31)

からのバトン

五ッ橋クラブ 亀ヶ川勇一さんへ

懐かしい寒河江訛りの電話、岩手線路班同期採用の沖田健一さん

からのバトンを受け取りました。

実は4年前沖田さんの幹事で秋田、岩手、山形3県の前期研修同期会を秋保温泉で、3年前は私の幹事で盛岡で開催しています。

実に43年ぶりの再会でした。31名中5名の方が既に亡くなられ、つくづく過ぎた年月の長さを感じたものです。

花巻線路採用を皮切りに、色々な業務に従事してきましたが、機転となったのが支社通信機器営業時代の宅内サービス総合工事の積算・価格交渉の通機部門への移行、総支社時代の190億のTE委託

契約、盛岡でのカスタマーサービスから113サービスへの異動等が挙げられます。いずれも諸先輩、スタッフに支えられながら何とかこなしてきました。

私の悪癖の1つは「猪突猛進」。競馬用語では、プリンカー（遮眼帯）とも言いますが、周りが見えなくなり、ろくに咀嚼せず直ぐに口に出してしまい、諸先輩には不快な思いをさせたであろうこと、誌面を借りてお詫びいたします（汗）。

平成31年NTTを退社後は幼少期から亡き父に連れ歩かされた奥山での山菜採り、秋はキノコ採り等楽しんでいきます。厳しく躰けられた乱獲の禁止を実践し同じ山で半世紀も採り続けています。大分足腰も弱り今では息子の助けを借りながら早春の雪庇が残る奥山の



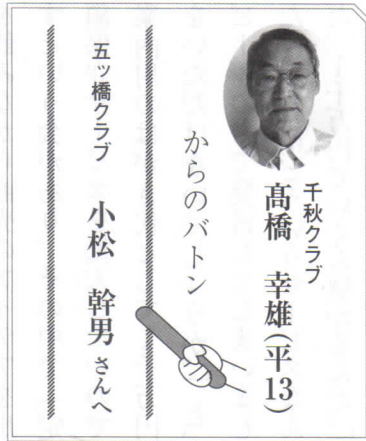
奥山での山菜採り

急斜面を登坂しています。

唯一の道楽であったプレジャーボートでの釣りも、東日本大震災で山田湾に係船したボートも流され、再度の所有は諦め山田の後輩所有のボートに乗せて貰ったり、盛岡電友会の「不来方釣りクラブ」に在籍し船釣りを楽しんでいました。

悪しき先輩から仕込まれた競馬は唯一のギャンブルですが、年金暮らしに合わせた1000円の3連単馬券で帯封(100万円)を夢見てGIのみ楽しんでおります。

次のバトンは一関の杜宅で6年間を共にし岩手での最後は私の上司でもあった、五ッ橋クラブの亀ケ川勇一さんへお渡しします。



毎年仙台ハーフマラソン大会で

7 km付近と9 km付近で三浦様ご家族総出のご声援を頂きお陰様で楽しく完走を続けています。昨年は新型コロナウイルス予防で30回記念大会も中止になり残念でしたが今年の参加の優先権があり再会を楽しみに練習に励んでいます。

仕事を離れた当時90 kg近くあった体重を減らす為、毎日プールに通いストレッチ運動、泳ぎ、水中ウォークをやり半年で10 kgの減量。ランニングマシンで汗を流しているうちに走れるのかも、と思い10 kmの市民マラソン大会に参加。以来プールから陸上に切り替え練習を始め65歳の時全国マスターズ陸上競技大会M65の部800 mで優勝。翌々年岩手で開催されたマスターズ陸上アジア大会で6位に入賞しました。最近はローレースが主となり70歳になった年に運よく



2011 マスターズ陸上 800 m決勝

抽選に当たり東京マラソンを走り完走出来ました。

春の山菜採りに始まり、四季を通して登山、旅を楽しみ、花で有名な「秋田駒ヶ岳」「森吉山」「栗駒山」には毎年登っています。2年前に夫婦で富士山に登ってきました。



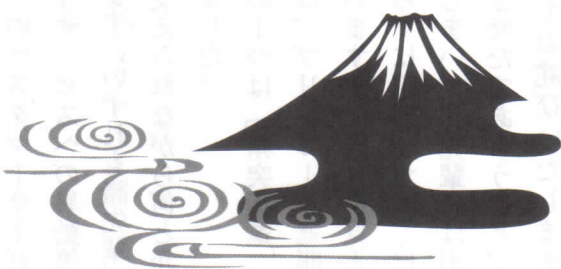
2017.8 夫婦で富士山頂

60歳以上を対象にした全国健康福祉祭(通称ねりんピック)が毎年持ち回りで開催されていますが、平成20年の鹿児島大会以降種目を変えながら秋田県代表として15年連続で参加しています。平成28年の長崎大会で秋田県選手団の旗手を務めたこと、翌年の秋田大

会でウォークラリー競技委員長を務めたことも思い出です。

100歳時代を生きるため、フレイル(虚弱)にならないために「貯金」より「貯筋」が大事といわれています。体を動かし健康で楽しく生きましょう。

宮城通信部機械保全課で当時小松課長のもと故障支援、交換機切替え支援等で夜を明かした日々、奥様を交えての宴会が懐かし思い出されます。当時の親分小松幹男さんにバトンをお渡しますのでかつての仲間元氣なお姿をみせて下さい。



会友コーナー

文芸

俳句

短歌

川柳

詩

随想

文芸欄



俳句

弘前地区電友会

菊池 つる

冬ざるる道行く児等のはつらつと
日当りて一際美し冬紅葉
筆太の賀状にきゅんと見惚れをり

倉谷 景子

聞くだけのラジオ体操冬に入る
船に沿う海豚は銀の弧を描く
晩学に揃へしノート春立てり

八戸地区電友会

佐々木敦子

新涼や千本鳥居なほ朱し
再建の社をつつむ深き海霧
間伐の音 研せり冬の山

福島地区電友会

加藤 良英

薔薇数多悩みも数多如何にせん
さつき咲き我が心にも燃えるもの
大輪の数多の芙蓉妻と視る

関戸 武

秒針の遅れに気付き春立つ日
救急車二月の空を鋭角に
ホースより水飛び出しぬ二月尽

霞城クラブ

黒木 恭悦

友が来て宴となる夜の葉鶏頭
吾ひとり擱かれ仕舞ひや後の月
コスモスの袂に触るる風かろし

千秋クラブ

柏谷 武

コロナ禍でスマホ活用躍り出る
おばさんの走る姿にバス停まる
雨宿り言いわけ上手月見草

短歌

八戸地区電友会

加藤みさを

花オクラ月のしずくを吸ひたるや
咲き定まりて二十糎なり

漬けもの桶三個洗ひて干しをれば

木樽めづらしと近所の人は

防波堤高く築かれ海見えぬ

街と変はれり三陸野田村

随想



ニューヨークで

新型コロナウイルスと疑われて

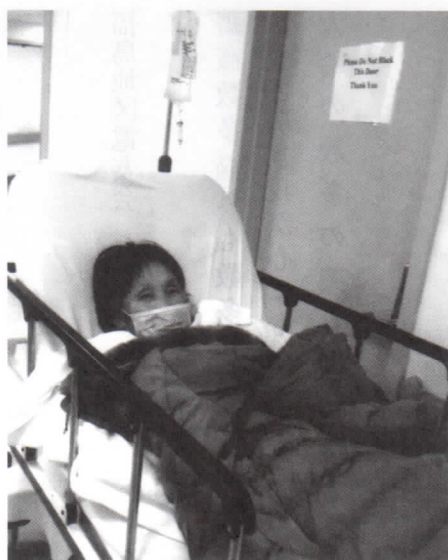


千秋クラブ

堀 久美子

「ママ、先生が『今日、ヤマ場だ』と言ってるヨ。」信じがたい言葉に私は衝撃を受けました。令和2年1月5日の朝、マンハッタンの娘のマンションでお茶を吐いた。脱水症状になれば大変と思い娘に無理やり、タイムズスクエアの裏手にある病院へ連れていかれ検査の結果すぐに大きな病院へ行くようにとの指示。そこはマウントサイナイと言う有名な病院でした。病院前には車椅子が用意され、黒人の優しいようなスタッフが待機していて、直ぐに個室に運んでくれました。それから、色々な検査が始まりました。特にビツクリ、検温は額とお尻、血液検査、肺の検査はタンカーで運ばれて別室へ。何枚ものレントゲン写真を撮られました。(レントゲン検査

だけでも20万円とか)その後、点滴が行われ5人の先生が立ち代わり様子を診にきました。ここでも「今日がヤマ場」と娘に何度も言うてきたそうです。



2020.1.5 点滴治療中

アメリカでは元年9月頃「アジアで何か怪しい病気が発生した」と言う話があったそうですが、12月初めに「新型コロナウイルス」であることが、判明したようでした。

そのためにアジア人である私も新型コロナウイルスに感染しているのではないかと疑われ入院するようにとのこと。

話す言葉にハンディがあり、容態をスタッフに伝えられず入院が難しくなり夜11時ようやく娘のマンションへの帰宅が認められました。翌日、再び病院で点滴。もちろん8時間ごとに3種類の薬を飲み続けました。結果、ようやく元気を取り戻しました。

私は、高齢者である自覚が足りずに信じがたいことが起きてしまったのです。

大事を取って日本へ帰ることを1週間延ばし、1月中旬に帰国しました。その時点では日本は新型コロナウイルス報道は無く、帰国をもう1週間先延ばしていたら成田で足止めされていたかも知れません。

私の病名は「インフルエンザA」でした。出発前の日本での予防注射は効き目がありませんでした。

毎年クリスマスから2〜3週間ニューヨークに行っていますが、病院通いの経験は初めての事。アメリカでの2日間の病院費用は約



2020.1.5
親切だったスタッフさん

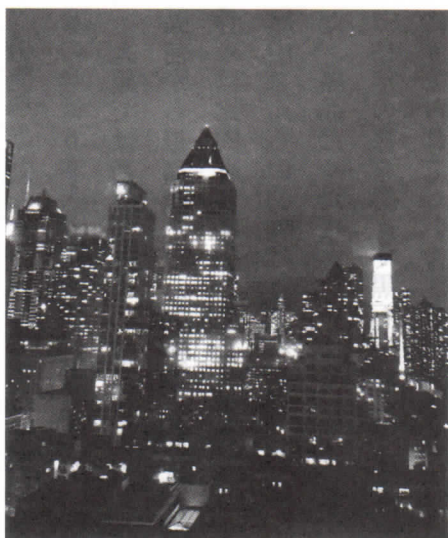


五ッ橋クラブ

近藤 詣壽

禍を転じて福と為す

「コロナ禍」と言われている現在、「塞翁ケ



2019.12.31 娘のマンションから見える
ニューヨークの夜景

150万円、保健の無いアメリカでは、具合が悪くても簡単に病院へ行くことが大変なのです。私は、渡米前必ず海外保険に加入してから出掛けています。

全世界が新型コロナウイルスにより一変してしまいました。出掛けたい時に自由に出かけられる日は、いつ来るのでしょうか。

今日も高齢者を自覚し、健康に気を付け、新型コロナウイルスの1日も早い終息を願う日々です。

馬」の詩ではないですが、禍福吉凶は回って輪をなす」とあるのでコロナ禍終息の「吉」を信じ果ごもり生活をプラスに考えて生活したいと思っています。私は合気道と詩吟を趣味とし、詩吟はサークル活動もしております。詩吟を吟ずるには作者の思い・意図に寄り添って吟じることが基本ですので、自粛の期間はネットを利用して、自分の吟ずる詩の内容を調べ、自分のものにするいいチャンスだと思います。

かつてNTT東北病院（共済サービス）に勤めていた頃、当時のY院長先生とお話する機会があり、たまたま漢詩の話になりました。私は自分の好きな王子渙の詩を記憶しておったので、興にのって「白日 山に依りて尽き、黄河 海に入りて流る、千里の目を窮めんと欲し、更に上る一層の楼」と言う漢詩を紹介しました。（高校時代に習った漢詩です。）すると、Y医院長先生は「近藤さん、3行目・4行目の詩は単に景色眺望だけの話ではなく、学問に対する作者の感慨も述べているのですよ。ひとつ学んでは、またその上を目指す、そしてより高めに挑戦していくと言うことなんです。」と教えてくれ、その場でY先生に心酔してしまいました。つまりは「人生は最後まで自己成長の道程なんだ」と



弘前地区電友会

木村 修

私は呑んべえ

いまだ私は呑んべえなり。



合気道の胴着姿も
りりしい...

その時に痛感しました。今回、この文章を書くにあたり再度Y先生の言葉を思い出し、これを肝に収めることができました。

「コロナ禍」の今を生きる我々としてそれぞれが自分の指針を再確認する機会だと思うのであります。そして、そのことが「禍を転じて福を為す」ことだと思います。

高校卒業後、弘前電話局へ採用された。18歳試験課へ配属、先輩の皆さんはチョー歳上。17時過ぎると対馬さん横山さんに引つ張られ近くの居酒屋へ毎晩直行。週5日休み無し呑んべえはしつかりきたえられた。

10年続き、仙台へ転勤。

仙台的酒は翌朝必ずチンチン踏切の信号音。

男鹿へ転勤したら秋田の酒は故郷の味。単身の身は6本入り箱買いにめり込む。

大館では通信部からの宿泊出張者の接待。

弘前から車通勤していたが週3回は午前様。

呑めば比内町の尾山さんちへ泊めてもらうた。

尾山さんちの朝食はきりたんぼ。美味しかった、絶品だったなあ。

15年の旅を終えて黒石へ帰る。山上分会長にカモられてつい書記長に。

3年後、解散会を手掛けて弘前へ。岩田分会長に捕まりワシは副分会長。岩田さんは酒呑まずの人。手を引いたら瞬く間に呑んべえ変身。週3日は例の呑み屋へ引つ張られ午前様。紫煙会議の連続、夜半の時間外対応もあり。ついに狭心症の手術に至る、48歳。

あれから30年、今78歳。めっちゃ張り切つて小坂パークゴルフ場へ。寝酒は20度の焼酎水割り5杯かな。(いまだ町会長)

趣味あれこれ



霞城クラブ

鈴木 一男

親父の影響から最初の趣味は中学時代からの盆栽、山部に所属し登山道整備で下刈りされた古木等の収集が始まりでした。

60数年過ぎた今も少々の鉢植えと種から蒔いた蔵王五葉松が庭に一部懸崖造りで(毎年5月剪定) 10数本が程よい太さになって私の生き様を見てくれています。

また、釣り雑誌を教本に自作のヘラウキや仕掛けでのヘラ鮒釣り、鮎等の溪流、海釣り等30年近く楽しみ赴任先では蕎麦粉を熱湯で括る奥会津の裁ち蕎麦打ちを教わり、今は「出羽かおり」を石臼挽で山形流の2・8蕎麦を水打し、タレは数十年寝かした返し造りからカツオ、昆布、煮干し、アゴ出汁で晦日の年越しは100食位を早朝4時起きで楽しんで居ります。

20年位前からは東北芸工大で陶芸を習い退職時、自分への褒美として陶芸灯油窯、電動轆轤、陶芸小屋を新築し、高校時代科学部で遊んだ化学の知識を生かして釉薬も全て自作調査して自己満足し土蔵を自作改修した香寿織ギャラリーで、たまに友人達と飲み会等で

遊んでおります。

また、1・5反歩位の畑で年間40〜50種類の野菜、豆類4種を利用して自家製10・16特上味噌50kg位醸造。また、果樹(サクランボ3種、リンゴ3種4本、キュウイ5種9本、柿3種、梅3種、栗2本、桃3種、鬼クルミ等) 桃栗3年柿8年の例えから年々植栽し野菜、果樹の収穫時は近隣、友達等にお裾分けするのに苦労しております。

果樹で手数の掛かるのは剪定、摘果、袋掛け、紅干し柿造り、のし梅、梅ジャム、梅干し造り等かな、まだまだ未熟でやりたい事をやるためにはコロナにも負けず健康第一にして皆様のご協力を得て頑張りたいと思っています。

健康寿命延長



電友あさか会

吉田 麗春

日本人の平均寿命は男性85歳・女性87歳。また、人生100年時代とも言われています。私の未だ77歳は通過点であり、長生きしているとは思えないです。少しでも健康寿命を延ばせるように次の事を実践しています。第

1は趣味を生甲斐に10年前にハワイアンバンド「ヒマナスターズ」を男女8名にて結成しコンサートやボランティア活動をして楽しんでおります。第2は町内会活動に積極的に参加し地域の方々との交流を大切にしております。第3は健康管理として室内外歩行・階段昇降・柔軟体操を日々行っております。第4はペットの猫2匹に癒され、夫婦仲を取り持っています。猫共々健康寿命で長生きしなければと痛感する今日です。

思い出



盛岡電友会

門口 雄

2011年3月31日、約40年余りお世話になりましたNTTを退職し、今年で丁度10年になります。サラリーマン生活最後となったその日は、同年3月11日に発生した東日本大震災の復旧作業で釜石におり、仲間と供に未曾有の出来事に対し無我夢中の毎日でした。

在職中での思い出は沢山ありますが、その中でも忘れられないのが、2010年本社主催の「第2回現場力向上フォーラム」故障修理の部でN社員・A社員ペアで全国優勝を達

成したことです。準備期間1年、N社員は入社3年目の女性で、社長はもとより会場でも注目の的でした。

2007年5月岩手支店に新設された「技術サービスセンタ」が発足しての快挙でした。現場力向上に向け「先輩の技術を引き継ぐ」ことをコンセプトとし、新入社員を始め中堅社員へ技術力のレベルアップを指導する技術集団でした。

優勝というこの快挙に係わり、大変嬉しかったことが思い出されます。

今、コロナ禍の中でリモートが注目され、益々NTTの技術力が求められています。

私自身も、この「デジタル化」に置いて行かないように、日々何事にも挑戦する気持ちを忘れずに過ごして行きたいと思っています。

米寿のお祝いを受けて



千秋クラブ

平塚 則雄

この度は、私の誕生日に際し、ご祝辞と記念品を頂き、誠に身に余る光栄と存じ感激に心打たれました。熱くお礼を申し上げます。

長生きするより、死ぬまで健康で食生活が

楽しく毎日が送れる事を願い、病気になっても入院・手術はせずに倒れた時は死を覚悟した「傘寿」でした。以来気ままな老後を送り古いアルバムから尋ね歩いた旧蹟、名所を思い浮かべ時を費やしてる間に「米寿」を迎えました。ひ孫の誕生もあり、ひ孫の遊び相手の高齢者にされては放つても置けず、健康に動ける日々を願いながら出来る範囲内の運動とストレッチを日課としております。

今後も夫婦が元気に生活できる日々を過ごせたらと、願う老後です。

最後に「お祝い」を頂き有難うございました。皆様に宜しくお伝えください。

◆会友コーナーへの投稿について

◎他紙等への二重投稿はご遠慮願います。

◎随想コーナーへの投稿については誌面の都合上、左記内容にご協力をお願いいたします。

◎掲載・・・年1回

ただし、投稿数が多い場合は次号に持越しとさせていただきます。

◎字数・・・1200字以内厳守

紙面の都合上、調整させていただく場合もありますのでご了承願います。

◎次回締切り・・・令和3年5月20日厳守

でんでんみちのく

川柳コーナー

お題は自由です。
お気軽に
応募ください！

弘前地区電友会

ゆきやなぎ

コロナ禍や地球を覗く鬼がいる
コロナ禍はマスクで全て隠せます
コロナ禍も年金生活無敵なり

福島地区電友会

高橋 敬一

マスク顔美人に見えるは俺だけか
なおみさん黒マスクして意思表示
昭和ではコロナに憧れ今拒絶

五ツ橋クラブ

山ボーイ

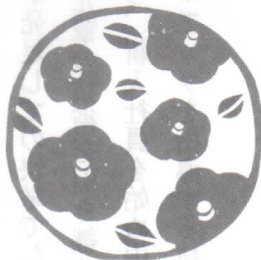
還暦を連れ行くガイド古希を超え
山おやじ紅葉の山道落とし物

コロナ禍はムダも省くがギリも欠き

千秋クラブ

高橋 幸雄

コロナ禍でアルバムめぐり旅の夢
炎天下ゴーヤ負けじと実を増やし
咲き終えて向日葵の首重たげに



◎投稿は紙面の都合上、一人3句までとさせていただきます。多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

会報編集委員会では会員の皆様からの原稿を募集しております。

でんでんみちのく川柳コーナー

○川柳

〈お一人3首(句)以内※〉

※多数投稿されている場合は勝手ながら編集担当で選定いたします。

お題は自由です！
お気軽に
応募ください！

【お問合せ・連絡先】
電友会東北地方本部

▶ 電話 (022) 212-1443 ▶ FAX (022) 212-1444
▶ E-mail : keyaki@cocoa.ocn.ne.jp

NTT東日本から退職者の皆さまへ

■長寿お祝いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本社長からのメッセージを添えた「カタログギフト電報」と花を贈呈させていただきます。

長寿の種類	贈呈品
喜寿（77歳）	カタログギフト電報+花 （1万円相当）（5千円）
米寿（88歳）	
白寿（99歳）	

（注：年齢は満年齢でNTT東日本が把握し贈呈しております）

■弔慰金の取扱いについて（勤続20年以上の退職者対象）

NTT東日本から以下のとおり香典をお贈りしています。

本人・・・30,000円

配偶者・・・10,000円

※贈呈期限については、長寿お祝いは該当年齢の誕生日から
弔慰金は死亡の事実が発生した日から、それぞれ2年以内と
なります

長寿のお祝いおよび弔慰金に関するお問合せは
NTT東日本-東北 総務部 社員サービス担当へご連絡ください
TEL：022-281-8716
Mail：obfuhou@east.ntt.co.jp

◎表紙写真の紹介

シリーズ 生き活きと

仲間と集う 明日も共に

今回は、山形の会員の活動紹介です。

史跡慈恩寺での観光案内ボランティアからは子供たちが熱心に耳を傾ける様子が伝わります。花笠まつりでの着付け支援では、シャッショウマカシヨの掛け声が聞こえてきそうです。山形名物のソバ打ちの講習会、そして米沢の雪灯籠祭りでの制作支援等々地域で活躍する仲間の姿を将棋の駒の五角形でかたどりました。地域に根差し楽しみながら活動している会員の姿をお汲み取りいただけたでしょうか。

今回は秋田です。仲間や地域とふれあい、イキイキと楽しむ姿を紹介していければと思います。

(写真提供/電友会山形支部)

●●●編集後記●●●

新年おめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、コロナに明けコロナに暮れました。

5月の連休の頃は、街の人出もまばらでこれからどうなるのかと危惧しましたが、夏の

終わり頃は街の活気もどうにか戻り始め、安堵しました。が、それもつかの間、東北の各地でも大きなクラスターが発生し、再び感染拡大の兆しを見せています。OB・OG諸兄におかれてはくれぐれもご自愛の上お過ごしください。

こういった中で、少しでもお互いの元気を発信しようと「米寿だよ！88号」と題し特集号を組みました。多くの会員、賛助会員の皆様から投稿いただき感謝申しあげます。拝見すれば、皆様、実に多方面に活動の範囲を広げご活躍されています。野菜作り、ボランティア活動、スポーツ三昧、習い事、更にはラーメン店のご主人として活躍等々、実に様々で元氣いっぱいの様子が行間に溢れています。賛助会員の皆様もこのコロナ禍のピンチをチャンスに替えようと大健闘です。皆様の奮闘がより良い方向に進みますよう心から祈念しております。

さて今年は丑年。先の見えない時代に、慌てず手堅く進むことが求められる年になるのでしょうか。コロナで環境や行動が大きく様変わりしましたが、お互いの信頼感を失わず着実に歩む年にしたいものです。

◆88号の巻頭言は、着任のご挨拶も兼ね昨年の6月にNTT東日本宮城事業部長に着任された滝澤正宏様、及び、NTT東日本山形支店長渡会俊輔様にお願いしました。心より感謝申し上げます。

◆次号(89号) 会報について

・発行時期 令和3年8月1日

・原稿締切 令和3年5月20日(期日厳守)

◆次号(89号)の巻頭言は、NTT東日本秋田支店様、電友会秋田支部にご協力をお願い致します。(S・T)



東北電友会会報

第88号

令和3年1月1日発行

〒984 8519 電友会東北地方本部
仙台市若林区五橋3-2-11
NTT五橋ビル内

電話 022-212-1144

FAX 022-212-1144

印刷 株式会社 仙台紙工印刷